

第74回定期演奏会

# 杉並弦楽合奏団

2025年  
12月20日(土)

午後2時開演

(1時30分 開場)

セシオン杉並

入場無料・全席自由

指揮

澤村 杏太朗



A.コレルリ：合奏協奏曲 作品6-8 「クリスマス」

J.S.バッハ：ブランデンブルク協奏曲 第3番

P.ウォーロック：カプリオール組曲

N.ゲーゼ：ノヴェレッテ 第2番 作品58

## プログラムノート

指揮に澤村杏太朗先生をお迎えして4回目の定期演奏会となります。最初の曲コレルリ「合奏協奏曲」Op.6-8は「クリスマス協奏曲」の愛称で親しまれています。独奏群と合奏群の掛け合いで、テンポを変えながら莊厳に、また快活に進行し、羊飼いがキリストの誕生を祝う有名な終曲「パストラーレ」に至ります。2曲目はJ.S.バッハの6つの「ブランデンブルク協奏曲」から、弦楽器のみの編成の第3番をお送りします。ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロそれぞれ3パートとコントラバス、合計10の声部が織りなす、多彩で緻密な対位法の魅力をお楽しみください。

プログラム後半の1曲目「カプリオール組曲」はイギリスのウォーロックによる6曲の小品集で、もとのピアノ連弾曲をウォーロック自身が弦楽合奏版に編曲しました。16世紀フランスの『オルケゾグラフィ』(舞曲とダンスの指南書)に基づいて書かれたものですが、ルネサンス舞曲の古雅な旋律と20世紀のモダンな和声が融合した、独創的な作品に仕上がっています。続いては、デンマークを代表するロマン派の作曲家ゲーゼの「ノヴェレッテ第2番」を演奏します。敬愛するメンデルスゾーンや北欧民族音楽の影響を受けながらも、独自の温かい叙情性が心なごませる、ゲーゼらしい作風の作品です。「ノヴェレッテ」とはもとは「短編小説」の意味で、音楽においては物語性のある小品を指します。ゲーゼが弦楽器の響きを最大限に生かそうとした4つの楽章に、どんな物語を読みとっていただけますでしょうか？

## セシオン杉並

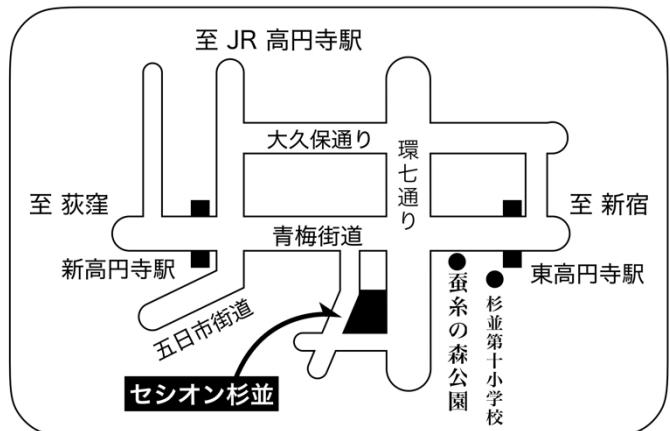
杉並区梅里 1-22-32

東京メトロ丸ノ内線

東高円寺駅下車 徒歩5分

新高円寺駅下車 徒歩7分

- 車でのご来場はご遠慮ください。
- 就学前のお子様のホール客席への入場はご遠慮ください。
- ホール後方に親子席(防音室)があります。ご希望の方は当日受付にお申し出ください。(先着6名様まで)
- 中通路に車椅子席もあります。



## 杉並弦楽合奏団 活動紹介

「杉並弦楽合奏団」は杉並区を拠点にした弦楽器のみの合奏団です。年2回の定期演奏会のほか、高齢者施設への出張演奏など、「杉弦」の愛称で地域に根差した活動をしています。

詳細はホームページ [«https://suginamigengaku.com»](https://suginamigengaku.com) をご覧ください。

[活動日時・場所] 毎週火曜日午後6時20分～9時 主に桃井第二小学校音楽室

[お問い合わせ] 稲葉 03-3399-5169

